



光寿無量

年頭にあたり
御挨拶を申し上げます
今年もお念仏とともに
一日いちにちを
大切に過ごしましょう

法話

月の光のように優しく
龍谷大学教授 武田晋師

たとへば月の光

よく一切の

優鉢羅華うはらけをして開敷かいふし

鮮明せんめいならしむるがごとし

涅槃ねはん経きやう

闇夜を照らす

優しい月の光は、闇夜を照らし、そっとそばにいることから、仏さまの救いに譬えられる場合があります。それは、親が子どもたちそれぞれを、平等に見守るよういつでもあります。仏さまも一切衆生を平等に案じていますが、ひとたび病の子があれば、その子に特に心がかかるように、罪業の重い衆生は特に心配でなりません。

お釈迦さま在世の時代に、父王と母を殺害しようとした阿闍世あせきという太子がいました。太子は自ら犯した罪を深く愁い悩み、重い身と

心の病を生じました。

この時、お釈迦さまは太子を心配し、月愛三昧がつあいさんまいという禅定ぜんじやうに入られて、大光明を放たれます。それは清涼で、身心に及ぶ光明でした。『涅槃経』に、その光明は、あたかも月の光が青蓮華せいれんげ（優鉢羅華）を開花させ、また夜道を行く人を照らし歓喜を与えるように、衆生の煩惱を除いて善心を増上させ、迷いの世界にあってさとり道みちを求め行者に歓喜を与えるといわれています。

阿闍世は、月のように優しい光明によって身の病を癒やされ、仏教に深く帰依して心の病からも解き放たれたのでした。

身心を柔らかかに

阿弥陀さまもまた、ひとたび救い取ったならば、決して離さないと誓った光明を放たれています。ご本願の第三十三願（触光柔軟の願）には、その光明に触れた者は、身心が柔軟になる

とし、お釈迦さまもそれを証明されています。また、親鸞聖人は、それを信心を獲た者の姿とされます。

では、身心柔軟とはどういうことでしょうか。それは、私の外に向いては、仏さまのような心持ちと行動といえるでしょう。例えば、固いガラスのコップ同士をぶつけると割れてしまいます。しかし、片方が柔らかい物であれば割れることがないように、頑なな人や心を受けとめることのできる、しなやかな心と振る舞い。一方で、私の内においては、つらい時、悲しい時、自分の弱さまでも和らげ受けとめていける心といえるでしょう。

世界中どこに行っても、変わらずにそっとそばにいるお月さまのように、阿弥陀さまは「そのままそのままで」「どんな時でも私がいるよ」と、私の心を優しく開いてくださるのです。

(本願寺新報 327号より)

住職より

コロナ禍が年を越し、我慢の三年目に入りました。もう少しの我慢だと思えますので、慎重に丁寧に日々を過ごしましょう。

関東大震災九十九年目

令和四年は、関東大震災(大正十二年1923年)から九十九年目、百回忌の年になります。(前住職の生誕百年にもなります)

七月の盂蘭盆会法要の時に、関東大震災百回忌法要も合わせてお勤めしたいと思えます。

親鸞聖人お誕生八五〇年立 教開宗八〇〇年をお祝いして慶賛法要が令和五年の三月から京都の西本願寺で勤まります。

芝組は、令和五年の四月十日午後法要に参拝することで、計画が進んでいます。団体参拝旅行の詳細が決まり次第お知らせします。

坊守より

腹話術の新しい仲間を迎えました。「たえちゃん」のお友達の「愛ちゃん」です。どうぞよろしくお願ひします。



教誓寺一年の行事

今年一年の教誓寺の行事です。元日・春・秋の彼岸会、盂蘭盆会、報恩講にはそれぞれ法要を勤修いたします。皆様お参り下さい。

元旦 元旦会

三月十八〜二十四 春彼岸

三月二二日(春分の日) 彼岸会

七月一三〜一六日 お盆

七月十日 盂蘭盆会

九月二一〜二七日 秋彼岸

九月二三(秋分の日) 彼岸会

十月二三(第4日曜) 報恩講

新年のご参詣

新しい年を迎えたら、お詣りに参りましょう。元旦会法要 一月一日

午前七時三〇分より 本寺は、準備万端整えて、元日から皆様のお参りを迎え致します。

坊守もお汁粉を拵えて、皆様にお召し上がって頂くのを楽しみにしております。お子様には、お年玉のお菓子を用意しております。皆様でお参り下さい。

年回忌法要

御法事は亡き人を縁として、いま生かされている生命の尊さをおかみしめつつ、故人も我も共にすくつてくださる阿弥陀如来の智慧と慈悲に手を合わせ、その仏恩にご報謝のおつとめとして行います。

今年(令和四年)の年回忌

一周忌	令和三年	二〇二二年
三回忌	令和二年	二〇二〇年
七回忌	平成二八年	二〇一六年
十三回忌	平成二二年	二〇一〇年
十七回忌	平成一八年	二〇〇六年
二三回忌	平成一二年	二〇〇〇年
二七回忌	平成八年	一九九六年
三三回忌	平成二年	一九九〇年
三七回忌	昭和六一年	一九八六年
五十回忌	昭和四八年	一九七三年
七十回忌	昭和二八年	一九五三年
百回忌	大正十二年	一九二三年

各ご施主様宛に年回忌法要のご案内をしています。すでに繰り上げておつとめされた方にもご案内が届きますことをご容赦下さい。また、内容に誤り等があった場合は、ご遠慮なくご指摘下さい。ご参詣の日時につきましては、お寺にご相談下さい。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺
1081-0073
東京都港区三田 一―二―一
〇三(三四五)二三九
kyousei.ji@is4.so-net.ne.jp